

第170回中小企業景況調査

2022年10～12月期

青 森 県

目次

I 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 回収状況	1

II 要約

1. 今期の景況	2
2. 来期の見通し	2

III 概況

1. グラフ	
業況判断・売上額・製品商品在庫の動向	4
経常利益・資金繰り・従業員数の動向	5
2. 表	
業況判断	6
売上額、売上(加工)数量・客数	7
輸出額・在庫水準・価格(仕入れ単価、売上単価)	8
経常利益・金融(資金繰り・長短借入難易度・借入金利)	9
従業員数・従業員数過不足	10
設備投資実施割合・生産設備過不足	11

I 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2022年11月15日
(2) 調査対象期間 2022年10～12月期実績及び2023年1～3月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

製造業、建設業については、資本金3億円以下又は従業員300人以下の企業、卸売業については、資本金1億円以下又は従業員100人以下の企業、小売業については、資本金5千万円以下又は従業員50人以下の企業、サービス業については、資本金5千万円以下又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(なお、各産業のうち「小規模」とあるのは、製造業及び建設業における従業員20人以下の、卸売業、小売業及びサービス業における従業員5人以下の企業規模を指し、その他は「中規模」と区分した。)

3. 調査方法

原則として、全国の商工会、商工会議所の経営指導員、及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し、聴き取りによって行った。

4. 回収状況

288企業のうち、265企業の回答を得た（有効回答率 92.0%）。

	調査対象企業数		有効回答企業数		有効回答率 (%)
製造業	55	(19.1)	51	(19.2)	92.7
建設業	35	(12.2)	34	(12.8)	97.1
卸売業	20	(6.9)	19	(7.2)	95.0
小売業	73	(25.3)	67	(25.3)	91.8
サービス業	105	(36.5)	94	(35.5)	89.5
合計	288	(100.0)	265	(100.0)	92.0

注：()内は構成比 (%)

Ⅱ 要 約

1. 今期の景況

2022年10～12月期の全産業の業況判断DI（前年同期比「好転」－「悪化」）は、前年同期比（2021年10～12月期）の△36.0から△34.5とほぼ横ばいであった。産業別で見ると、卸売業+22.2（△33.3↗□△11.1）と大幅に好転、サービス業も+12.0（△41.3↗□△29.3）と好調であり、小売業+6.3（△59.3↗□△53.0）と続いた。しかしながら、建設業-11.4（△12.1↘△23.5）、製造業-19.6（△15.7↘△35.3）と大きく後退した。全産業の業況水準判断DI（今期の水準「良い」－「悪い」）は、前年同期（2021年10～12月期）の△39.5、前期（2022年7～9月期）の△36.2に対して、今期は△34.0となった。産業別に前年同期と比して見ていくと、卸売業+43.6（△43.6↗□±0.0）、サービス業+16.8（△42.6↗□△25.8）、小売業+13.5（△62.7↗□△49.2）の順に上昇したが、建設業-8.2（△21.2↘△29.4）、製造業-26.3（△17.1↘△44.0）と大きく悪化した。売上額DI（前年同期比「増加」－「減少」）については、全産業では前年同期△33.5に対して、今期は△18.6となり+15.2と3期連続で回復傾向が続いた。産業別では、前年同期と比して、卸売業+77.1（△56.1↗□21.0）、サービス業+36.1（△45.8↗□△9.7）、小売業も+11.2（△47.5↗□△36.3）と低調ながらも増加した。建設業-14.5（△12.1↘△26.6）、製造業-17.7（△2.0↘△19.7）と低下した。経常利益DI（前年同期比「好転」－「悪化」）においては、全産業では、前年同期△38.4、前期△39.0に対して今期は△46.3と悪化した。産業別では、前年同期で比べると卸売業+14.5（△31.1↗△16.6）と唯一好調であった。サービス業0.1（△43.6→△43.5）とほとんど変化はなく、小売業-11.0（△47.5↗△58.5）と悪化、製造業-14.5（△27.5↘△42.0）建設業-25.6（△27.3↘△52.9）と大幅に悪化した。

（注） DIとは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から、「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

なお、前期比（季調済）は、X12-ARIMA（X11デフォルト）により季節調整を行った値である。

2. 来期の見通し

コロナ禍からの持ち直しの傾向は実感できるようにはなってきたが、円安傾向、不安定な世界情勢により、原材料価格、仕入単価の上昇がブレーキとなっている。唯一、好調だったのは卸売業である。在庫水準の過剰感が和らいだこと、仕入単価の上昇分をある程度、売上単価の上昇に転嫁ができたことにより、売上と経常利益の好転につながった。製造業は、輸出額は好調だったものの、原材料高騰の影響が著しく厳しい状況であった。小売、サービス業においては、売上は底からの回復傾向を示しているが、仕入価格上昇分を販売価格に転嫁できていないために、利益率は厳しい状況にある。来期も苦しい状況が続くものと予想されるが、従業員数過不足DIをみると、人手不足感がさらに高まっており、注意が必要である。加えて、2023年、2024年は、中小企業に関わる法改正も多く、しっかりとした対応が求められる。

Ⅱ 概 況

全産業（2022年10～12月期）

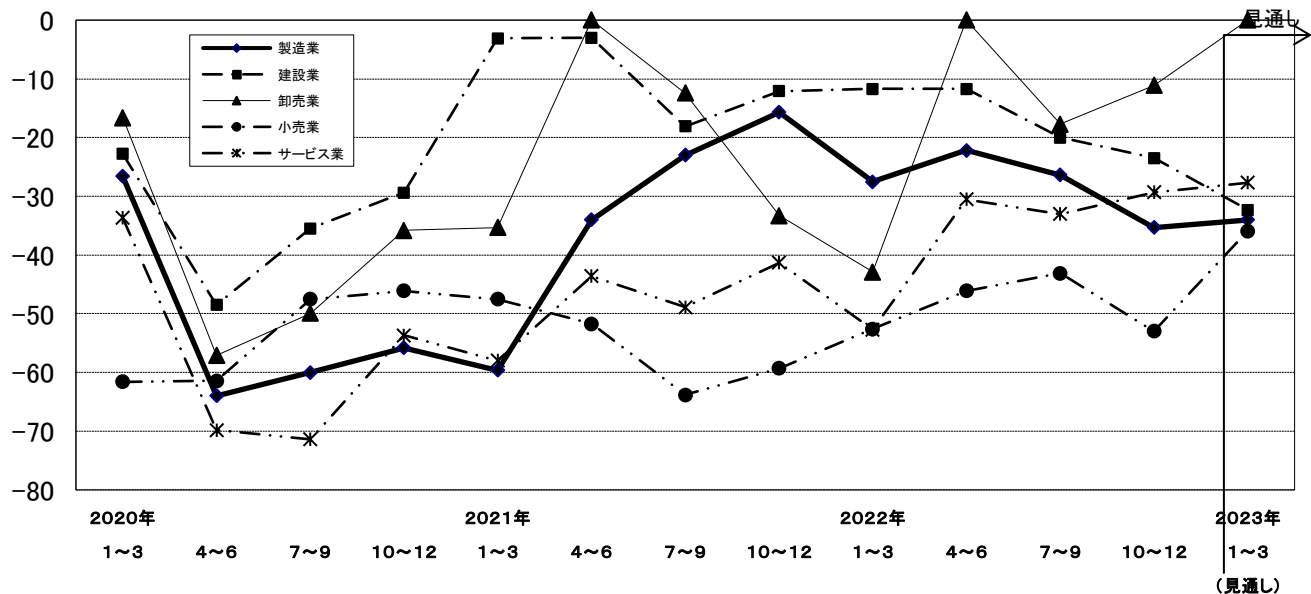
	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準
2021年10～12月実績	△ 36.0	△ 32.7	△ 39.5	△ 33.5	△ 28.2	4.0	△ 38.4	△ 26.5	△ 26.8	△ 19.1
2022年1～3月実績	△ 41.4	△ 26.2	△ 46.5	△ 38.7	△ 17.3	2.4	△ 47.1	△ 27.3	△ 24.4	△ 13.5
2022年4～6月実績	△ 28.5	△ 19.4	△ 31.4	△ 23.7	△ 15.7	3.1	△ 37.8	△ 15.9	△ 14.1	△ 26.0
2022年7～9月実績	△ 31.5	△ 30.0	△ 36.2	△ 21.6	△ 20.8	4.0	△ 39.0	△ 21.3	△ 19.1	△ 23.1
2022年10～12月実績	△ 34.5	△ 31.4	△ 34.0	△ 18.3	△ 23.8	4.7	△ 46.3	△ 20.0	△ 21.5	△ 26.3
2023年1～3月見通し	△ 29.8	△ 27.8	—	△ 23.6	—	—	△ 40.0	△ 20.9	—	—

産業別（2022年10～12月期）

	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準
製造業	△ 35.3	△ 44.3	△ 44.0	△ 19.7	△ 45.2	△ 9.1	△ 42.0	△ 16.0	△ 19.2	△ 32.7
建設業	△ 23.5	△ 25.0	△ 29.4	△ 26.6	△ 28.4	—	△ 52.9	△ 5.9	△ 1.8	△ 38.3
卸売業	△ 11.1	△ 7.2	0.0	21.0	3.0	16.7	△ 16.6	△ 15.8	△ 13.8	△ 16.7
小売業	△ 53.0	△ 40.2	△ 49.2	△ 36.3	△ 30.3	10.5	△ 58.5	△ 38.4	△ 31.3	△ 19.6
サービス業	△ 29.3	△ 23.5	△ 25.8	△ 9.7	△ 11.7	—	△ 43.5	△ 15.4	△ 20.0	△ 24.4

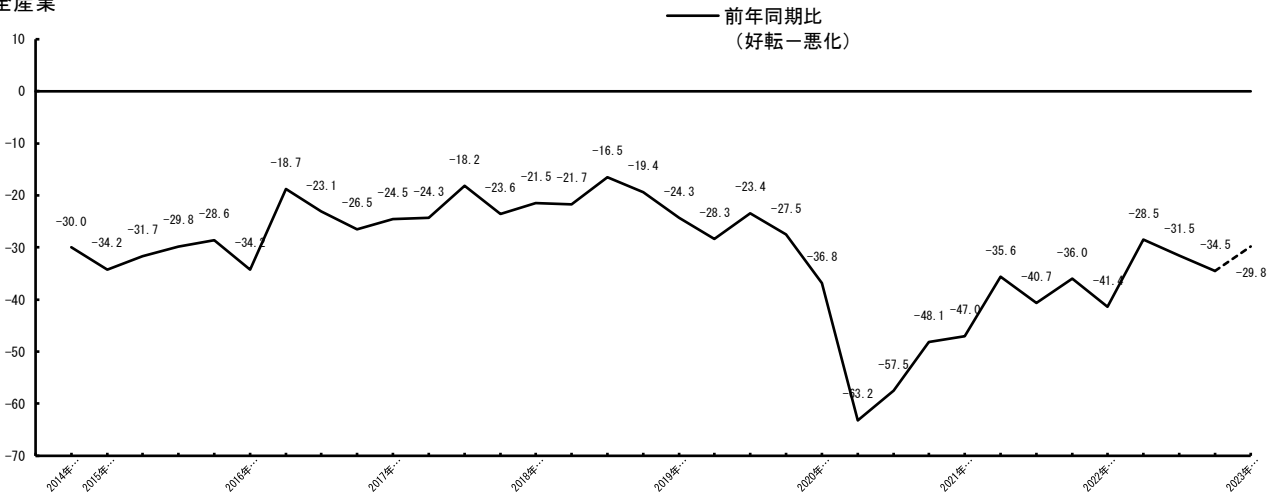
注：製造業の輸出額DI（前年同期比）は 10.0 生産設備過不足DI（今期の水準）は △ 13.7

産業別 過去3年間の業況DI(前年同期比)の推移
(2020年1～3月期～2022年10～12月期)



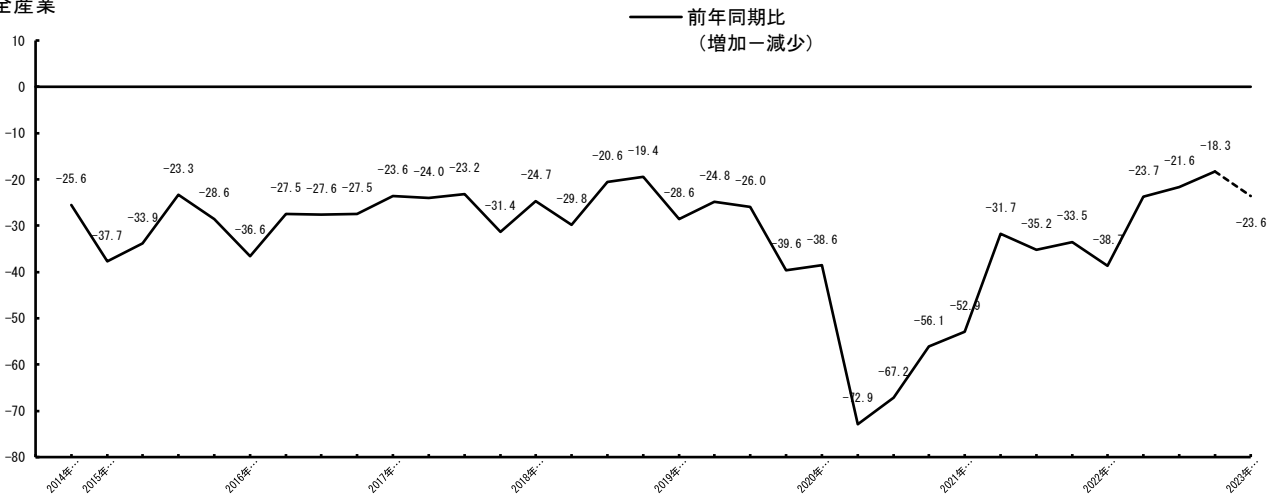
業況判断の動向（DI）

全産業



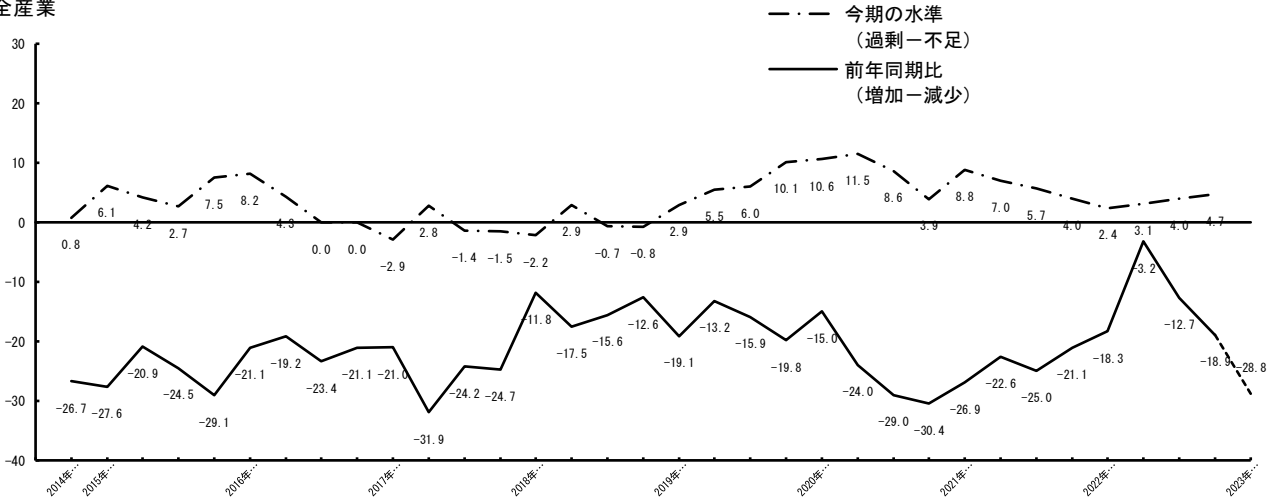
売上額の動向（DI）

全産業



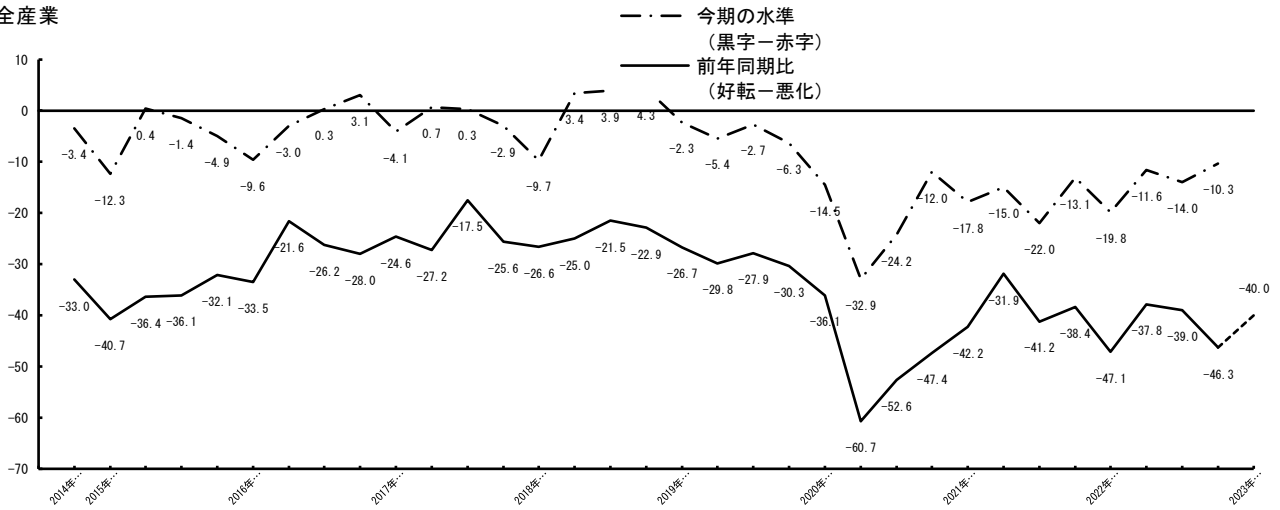
製品・商品在庫の動向（DI）

全産業



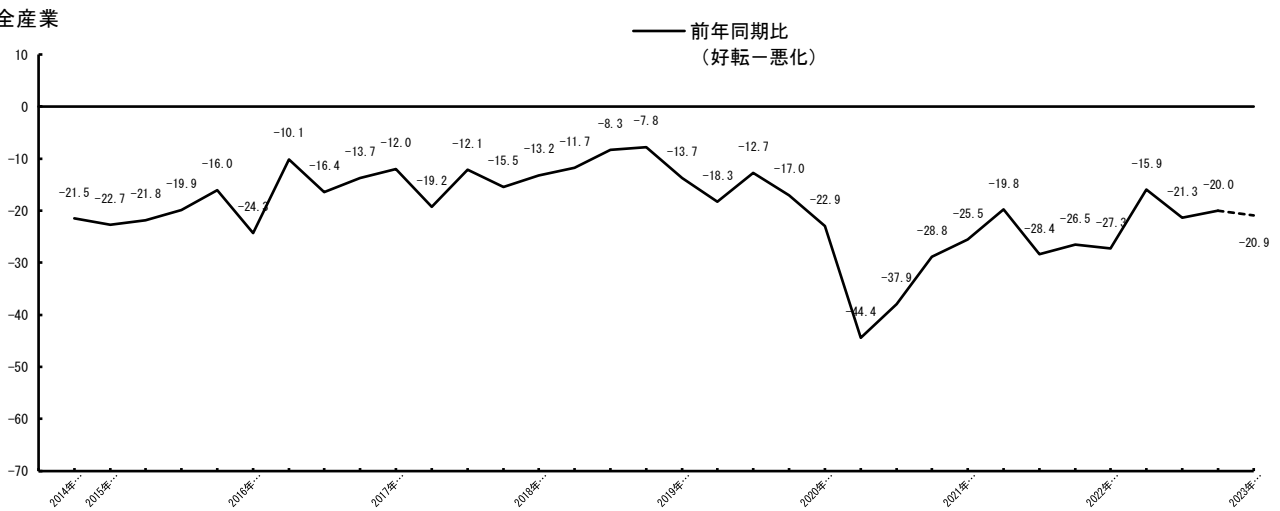
経常利益の動向 (D I)

全産業



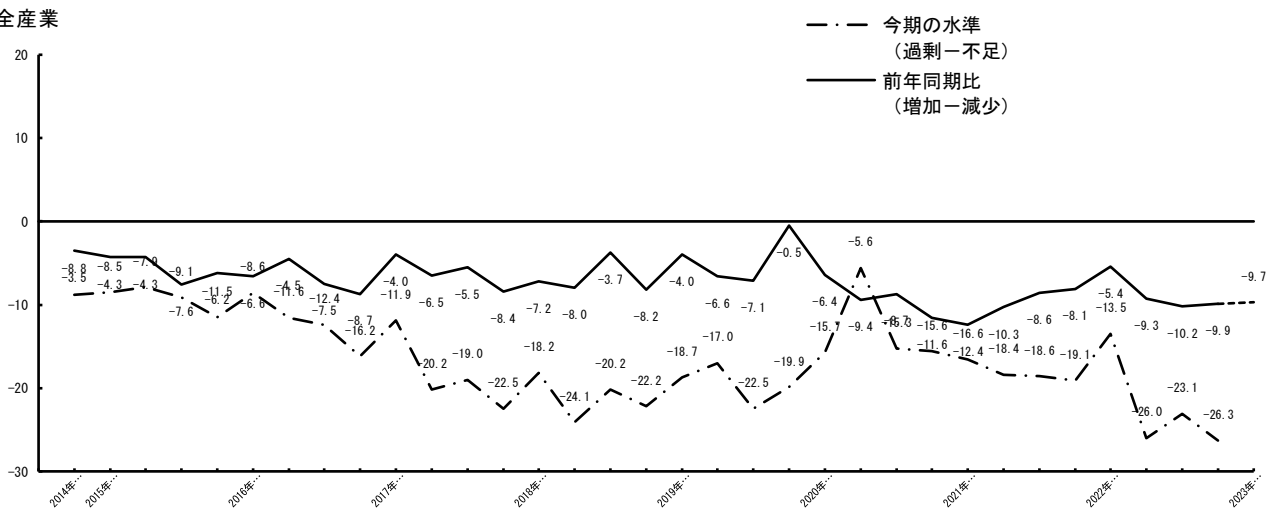
資金繰りの動向 (D I)

全産業



従業員数 (臨時・パート等を含む) の動向 (D I)

全産業



業況判断D I（「好転」－「悪化」）

		実 績					来期見通し
		2021年 10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	2023年 1～3月期
全 産 業	前年同期比	△ 36.0 (△ 38.2)	△ 41.4 (△ 28.2)	△ 28.5 (△ 36.4)	△ 31.5 (△ 24.3)	△ 34.5 (△ 26.8)	△ 29.8
	[前期比・季調済]	[△ 32.7] (△ 31.7)	[△ 26.2] (△ 28.6)	[△ 19.4] (△ 33.2)	[△ 30.0] (△ 11.4)	[△ 31.4] (△ 27.7)	[△ 27.8]
製造業	前年同期比	△ 15.7 (△ 22.0)	△ 27.5 (△ 11.8)	△ 22.2 (△ 22.0)	△ 26.4 (△ 20.4)	△ 35.3 (△ 35.3)	△ 34.0
	[前期比・季調済]	[△ 3.7] (△ 18.7)	[△ 3.7] (△ 8.6)	[△ 14.0] (△ 16.5)	[△ 31.8] (△ 11.5)	[△ 44.3] (△ 38.1)	[△ 39.5]
建設業	前年同期比	△ 12.1 (△ 30.3)	△ 11.7 (△ 27.3)	△ 11.7 (△ 15.6)	△ 20.0 (△ 27.3)	△ 23.5 (△ 20.6)	△ 32.3
	[前期比・季調済]	[△ 15.1] (△ 30.2)	[△ 9.3] (△ 33.6)	[△ 13.3] (△ 9.7)	[△ 26.5] (△ 18.9)	[△ 25.0] (△ 25.5)	[△ 32.3]
卸売業	前年同期比	△ 33.3 (0.0)	△ 42.9 (△ 20.0)	0.0 (△ 33.4)	△ 17.7 (13.3)	△ 11.1 (△ 33.3)	0.0
	[前期比・季調済]	[△ 42.0] (△ 0.3)	[△ 29.7] (△ 24.5)	[△ 29.1] (△ 27.8)	[△ 42.1] (1.8)	[△ 7.2] (△ 24.4)	[7.9]
小売業	前年同期比	△ 59.3 (△ 49.9)	△ 52.6 (△ 39.7)	△ 46.1 (△ 45.5)	△ 43.1 (△ 32.3)	△ 53.0 (△ 32.8)	△ 35.9
	[前期比・季調済]	[△ 55.0] (△ 40.3)	[△ 34.8] (△ 39.1)	[△ 23.6] (△ 42.0)	[△ 34.7] (△ 16.3)	[△ 40.2] (△ 28.7)	[△ 36.3]
サービス業	前年同期比	△ 41.3 (△ 48.9)	△ 52.7 (△ 31.5)	△ 30.5 (△ 46.2)	△ 33.0 (△ 26.3)	△ 29.3 (△ 19.2)	△ 27.7
	[前期比・季調済]	[△ 39.0] (△ 36.9)	[△ 43.7] (△ 34.8)	[△ 15.6] (△ 46.6)	[△ 25.1] (△ 8.6)	[△ 23.5] (△ 20.3)	[△ 21.7]

注：（ ）内は1期前における当期見通し

業況水準判断D I（「良い」－「悪い」）

		今 期 の 水 準				
		2021年 10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
全 産 業		△ 39.5	△ 46.5	△ 31.4	△ 36.2	△ 34.0
製造業		△ 17.7	△ 38.5	△ 22.2	△ 36.0	△ 44.0
建設業		△ 21.2	△ 15.1	△ 17.7	△ 25.7	△ 29.4
卸売業		△ 43.6	△ 46.6	△ 5.2	△ 27.7	0.0
小売業		△ 62.7	△ 62.2	△ 47.6	△ 40.9	△ 49.2
サービス業		△ 42.6	△ 52.1	△ 35.4	△ 38.5	△ 25.8

売上額D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し
		2021年 10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2023年 1~3月期
全産業	前年同期比	△ 33.5 (△ 36.3)	△ 38.7 (△ 25.7)	△ 23.7 (△ 39.8)	△ 21.6 (△ 12.4)	△ 18.3 (△ 23.5)	△ 23.6
	[前期比・季調済]	[△ 28.2]	[△ 17.3]	[△ 15.7]	[△ 20.8]	[△ 23.8]	[———]
製造業	前年同期比	△ 2.0 (△ 15.4)	△ 3.8 (△ 5.9)	△ 3.7 (△ 7.7)	△ 15.1 (3.7)	△ 19.7 (△ 11.3)	△ 29.2
	[前期比・季調済]	[△ 7.4]	[8.8]	[6.0]	[△ 18.6]	[△ 45.2]	[———]
建設業	前年同期比	△ 12.1 (△ 39.4)	△ 23.5 (△ 36.4)	△ 36.4 (△ 38.2)	△ 31.5 (△ 39.4)	△ 26.6 (△ 42.8)	△ 38.2
	[前期比・季調済]	[△ 13.2]	[△ 14.1]	[△ 40.5]	[△ 38.1]	[△ 28.4]	[———]
卸売業	前年同期比	△ 56.1 (△ 6.3)	△ 46.7 (△ 13.4)	0.1 (△ 60.0)	11.2 (15.8)	21.0 (0.0)	0.1
	[前期比・季調済]	[△ 39.6]	[△ 42.7]	[△ 9.8]	[10.3]	[3.0]	[———]
小売業	前年同期比	△ 47.5 (△ 43.1)	△ 46.5 (△ 32.3)	△ 30.8 (△ 39.6)	△ 37.8 (△ 23.2)	△ 36.3 (△ 30.2)	△ 34.4
	[前期比・季調済]	[△ 41.6]	[△ 20.9]	[△ 18.6]	[△ 23.9]	[△ 30.3]	[———]
サービス業	前年同期比	△ 45.8 (△ 47.9)	△ 56.9 (△ 30.8)	△ 30.9 (△ 54.7)	△ 16.6 (△ 10.4)	△ 9.7 (△ 23.0)	△ 12.0
	[前期比・季調済]	[△ 31.3]	[△ 37.6]	[△ 8.9]	[△ 14.8]	[△ 11.7]	[———]

注： () 内は1期前における当期見通し

売上(加工)数量・客数の動向D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し
		2021年 10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2023年 1~3月期
製造業 売上(加工)数量	前年同期比	△ 9.8 (△ 15.4)	△ 13.5 (△ 13.7)	△ 5.5 (△ 9.6)	△ 13.4 (0.0)	△ 35.2 (△ 17.3)	△ 35.4
	[前期比・季調済]	[△ 10.0]	[0.2]	[6.8]	[△ 25.8]	[△ 56.1]	[———]
小売業 客数	前年同期比	△ 58.7 (△ 57.8)	△ 58.6 (△ 49.1)	△ 57.0 (△ 53.4)	△ 53.0 (△ 35.5)	△ 51.5 (△ 43.9)	△ 41.9
	[前期比・季調済]	[△ 50.0]	[△ 35.2]	[△ 34.3]	[△ 43.8]	[△ 43.6]	[———]
サービス業 利用客数	前年同期比	△ 44.7 (△ 48.9)	△ 55.7 (△ 37.5)	△ 24.2 (△ 50.4)	△ 24.2 (△ 24.0)	△ 23.9 (△ 26.3)	△ 20.4
	[前期比・季調済]	[△ 40.7]	[△ 38.5]	[△ 13.7]	[△ 22.7]	[△ 25.1]	[———]

注： () 内は1期前における当期見通し

輸出額D I (「増加」-「減少」)

	前年同期比					来期見通し
	実績					
	2021年 10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2023年 1~3月期
製造業	△ 14.3 (△ 7.7)	△ 14.3 (△ 21.4)	△ 7.7 (△ 14.3)	△ 14.3 (△ 7.1)	10.0 (△ 14.3)	9.1

注：()内は1期前における当期見通し

在庫水準判断D I (「過剰」-「不足」)

	今期の水準				
	2021年 10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	4.0	2.4	3.1	4.0	4.7
製造業	△ 8.3	△ 2.0	△ 10.9	△ 11.7	△ 9.1
卸売業	25.0	20.0	15.8	38.9	16.7
小売業	8.4	1.8	9.4	4.6	10.5

価格の動向

	仕入単価D I (「上昇」-「低下」) 前年同期比				
	2021年 10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	49.2	60.7	72.6	68.9	76.2
製造業	76.0	80.8	89.6	91.5	88.9
建設業	78.8	76.6	88.2	88.5	94.1
卸売業	43.6	53.3	78.9	88.9	88.9
小売業	35.5	56.9	57.9	62.1	69.3
サービス業	34.8	48.4	66.9	51.0	65.9

		売上単価D I (「上昇」-「低下」)				
		2021年 10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	前年同期比	△ 18.7	△ 17.7	△ 1.3	△ 0.9	1.8
	[前期比・季調済]	[△ 18.4]	[△ 14.1]	[△ 3.8]	[1.3]	[△ 4.4]
製造業	前年同期比	2.0	21.2	18.5	30.2	29.4
	[前期比・季調済]	[△ 0.6]	[11.5]	[12.7]	[19.4]	[20.3]
卸売業	前年同期比	12.5	20.0	57.8	82.4	68.3
	[前期比・季調済]	[10.2]	[23.8]	[54.8]	[68.3]	[45.5]
小売業	前年同期比	△ 27.7	△ 34.4	△ 17.0	△ 27.3	△ 27.3
	[前期比・季調済]	[△ 30.7]	[△ 23.7]	[△ 17.1]	[△ 15.7]	[△ 30.3]
サービス業	前年同期比	△ 29.7	△ 34.7	△ 13.7	△ 14.6	△ 6.4
	[前期比・季調済]	[△ 24.7]	[△ 28.2]	[△ 12.6]	[△ 8.9]	[△ 9.0]

経常利益D I (「好転」－「悪化」)

	前 年 同 期 比					
	実 績					来期見通し
	2021年 10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	2023年 1～3月期
全 産 業	△ 38.4 (△ 41.6)	△ 47.1 (△ 35.6)	△ 37.8 (△ 42.6)	△ 39.0 (△ 36.8)	△ 46.3 (△ 37.0)	△ 40.0
製 造 業	△ 27.5 (△ 38.5)	△ 34.6 (△ 23.6)	△ 33.3 (△ 23.5)	△ 37.8 (△ 28.9)	△ 42.0 (△ 39.6)	△ 36.0
建 設 業	△ 27.3 (△ 45.4)	△ 26.5 (△ 39.4)	△ 29.4 (△ 44.1)	△ 40.0 (△ 39.4)	△ 52.9 (△ 47.1)	△ 42.4
卸 売 業	△ 31.1 (△ 6.2)	△ 26.7 (△ 18.7)	0.0 (△ 26.6)	△ 35.3 (5.5)	△ 16.6 (△ 38.9)	6.2
小 売 業	△ 47.5 (△ 47.4)	△ 62.0 (△ 37.3)	△ 52.2 (△ 51.7)	△ 45.4 (△ 50.8)	△ 58.5 (△ 43.1)	△ 49.3
サービス業	△ 43.6 (△ 44.6)	△ 55.2 (△ 42.6)	△ 40.6 (△ 49.5)	△ 35.4 (△ 39.0)	△ 43.5 (△ 27.4)	△ 42.9

注：()内は1期前における当期見通し

金融の動向

		2021年 10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
資金繰りD I 「好転」－「悪化」	全産業	△ 26.5 [△ 26.8]	△ 27.3 [△ 24.4]	△ 15.9 [△ 14.1]	△ 21.3 [△ 19.1]	△ 20.0 [△ 21.5]
	製造業	△ 19.6 [△ 16.3]	△ 11.6 [△ 18.9]	△ 7.6 [△ 5.6]	△ 20.8 [△ 15.8]	△ 16.0 [△ 19.2]
長期資金借入難易度 「容易」－「困難」	全産業	[△ 9.3]	[△ 13.6]	[△ 6.5]	[△ 12.2]	[△ 13.8]
	製造業	[△ 8.6]	[△ 11.1]	[△ 12.0]	[△ 12.8]	[△ 10.2]
短期資金借入難易度 「容易」－「困難」	全産業	[△ 6.3]	[△ 10.0]	[△ 6.3]	[△ 6.8]	[△ 9.2]
	製造業	[△ 4.1]	[△ 5.2]	[△ 6.5]	[△ 5.7]	[△ 1.7]
借入金利D I 「上昇」－「低下」	全産業	[△ 3.3]	[△ 4.7]	[△ 2.4]	[2.7]	[0.7]
	製造業	[△ 6.7]	[△ 10.3]	[△ 1.5]	[△ 0.1]	[△ 1.5]

注：[]内は前期比(季調済)、それ以外は前年同期比

従業員数D I (「増加」-「減少」)

	前年同期比					
	実績					来期見通し
	2021年 10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2023年 1~3月期
全産業	△ 8.1 (△ 9.5)	△ 5.4 (△ 9.1)	△ 9.3 (△ 3.7)	△ 10.2 (△ 4.6)	△ 9.9 (△ 9.8)	△ 9.7
製造業	△ 10.4 (△ 6.1)	△ 14.3 (△ 14.6)	△ 4.2 (△ 6.3)	△ 14.3 (△ 6.4)	△ 17.0 (△ 10.2)	△ 13.0
建設業	△ 6.1 (△ 12.1)	△ 2.9 (△ 15.2)	△ 15.1 (△ 8.8)	△ 14.7 (△ 18.8)	△ 21.9 (△ 20.6)	△ 28.1
卸売業	△ 6.3 (△ 6.3)	0.0 (△ 6.3)	0.0 (△ 7.2)	0.0 (△ 0.0)	5.6 (△ 0.0)	△ 5.9
小売業	△ 2.2 (△ 4.5)	2.2 (△ 2.2)	△ 7.4 (△ 4.5)	△ 9.6 (△ 7.3)	△ 9.1 (△ 7.7)	△ 5.6
サービス業	△ 11.5 (△ 14.1)	△ 6.2 (△ 10.2)	△ 13.4 (△ 6.1)	△ 8.5 (△ 4.8)	△ 5.1 (△ 8.5)	△ 3.9

注：()内は1期前における当期見通し

従業員数過不足D I (「過剰」-「不足」)

	今期の水準				
	2021年 10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	△ 19.1	△ 13.5	△ 26.0	△ 23.1	△ 26.3
製造業	△ 14.6	△ 2.0	△ 33.4	△ 25.0	△ 32.7
建設業	△ 48.5	△ 45.5	△ 50.0	△ 42.9	△ 38.3
卸売業	6.3	6.7	△ 15.8	△ 16.7	△ 16.7
小売業	△ 8.5	△ 4.5	△ 14.6	△ 14.8	△ 19.6
サービス業	△ 21.0	△ 16.0	△ 21.7	△ 20.5	△ 24.4

設備投資実施企業割合（実施企業／回答企業×100）単位：％

	実 績					来期計画
	2021年 10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	2023年 1～3月期
全 産 業	14.0	12.2	13.9	12.2	17.6	13.2
製 造 業	8.7	6.7	8.3	7.7	12.2	12.0
建 設 業	15.2	23.5	26.5	11.4	14.7	20.6
卸 売 業	6.7	20.0	10.5	5.9	15.8	11.1
小 売 業	9.1	7.0	11.3	12.7	16.7	10.8
サービス業	20.2	12.6	14.6	15.6	22.6	13.3

生産設備過不足感D I（「過剰」－「不足」）

	今 期 の 水 準				
	2021年 10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
製 造 業	△ 7.8	△ 5.8	△ 15.1	△ 16.0	△ 13.7

経営上の問題点

	今期直面している経営上の問題点				
	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	4位 (%)	5位 (%)
製造業	原材料価格の上昇 51.0 (32.7) 〔 50.0 〕	生産設備の不足・老朽化 12.2 (10.2) 〔 5.8 〕	熟練技術者の確保難 8.2 (2.0) 〔 0.0 〕	需要の停滞 8.2 (16.3) 〔 17.3 〕	原材料の不足 4.1 (10.2) 〔 3.8 〕
建設業	材料価格の上昇 60.6 (45.7) 〔 44.1 〕	官公需要の停滞 15.2 (11.4) 〔 11.8 〕	従業員の確保難 12.1 (14.3) 〔 8.8 〕	材料の入手難 3.0 (11.4) 〔 5.9 〕	請負単価の低下・上昇難 3.0 (0.0) 〔 2.9 〕
卸売業	仕入単価の上昇 52.9 (47.1) 〔 47.1 〕	従業員の確保難 11.8 (11.8) 〔 5.9 〕	需要の停滞 11.8 (17.6) 〔 11.8 〕	大企業の進出による競争の激化 5.9 (0.0) 〔 0.0 〕	メーカーの進出による競争の激化 5.9 (0.0) 〔 0.0 〕
小売業	仕入単価の上昇 35.9 (33.3) 〔 18.8 〕	大・中型店の進出による競争の激化 14.1 (15.0) 〔 25.0 〕	購買力の他地域への流出 14.1 (11.7) 〔 4.7 〕	需要の停滞 7.8 (11.7) 〔 21.9 〕	人件費以外の経費の増加 6.2 (1.7) 〔 4.7 〕
サービス業	材料等仕入単価の上昇 28.2 (16.7) 〔 23.9 〕	人件費以外の経費の増加 14.1 (12.2) 〔 8.0 〕	利用者ニーズの変化への対応 12.9 (13.3) 〔 18.2 〕	従業員の確保難 10.6 (7.8) 〔 6.8 〕	大企業の進出による競争の激化 8.2 (5.6) 〔 3.4 〕

注： () 内は前期構成比
〔 〕 内は前々期構成比 いずれも問題点の1位にあげた企業の割合